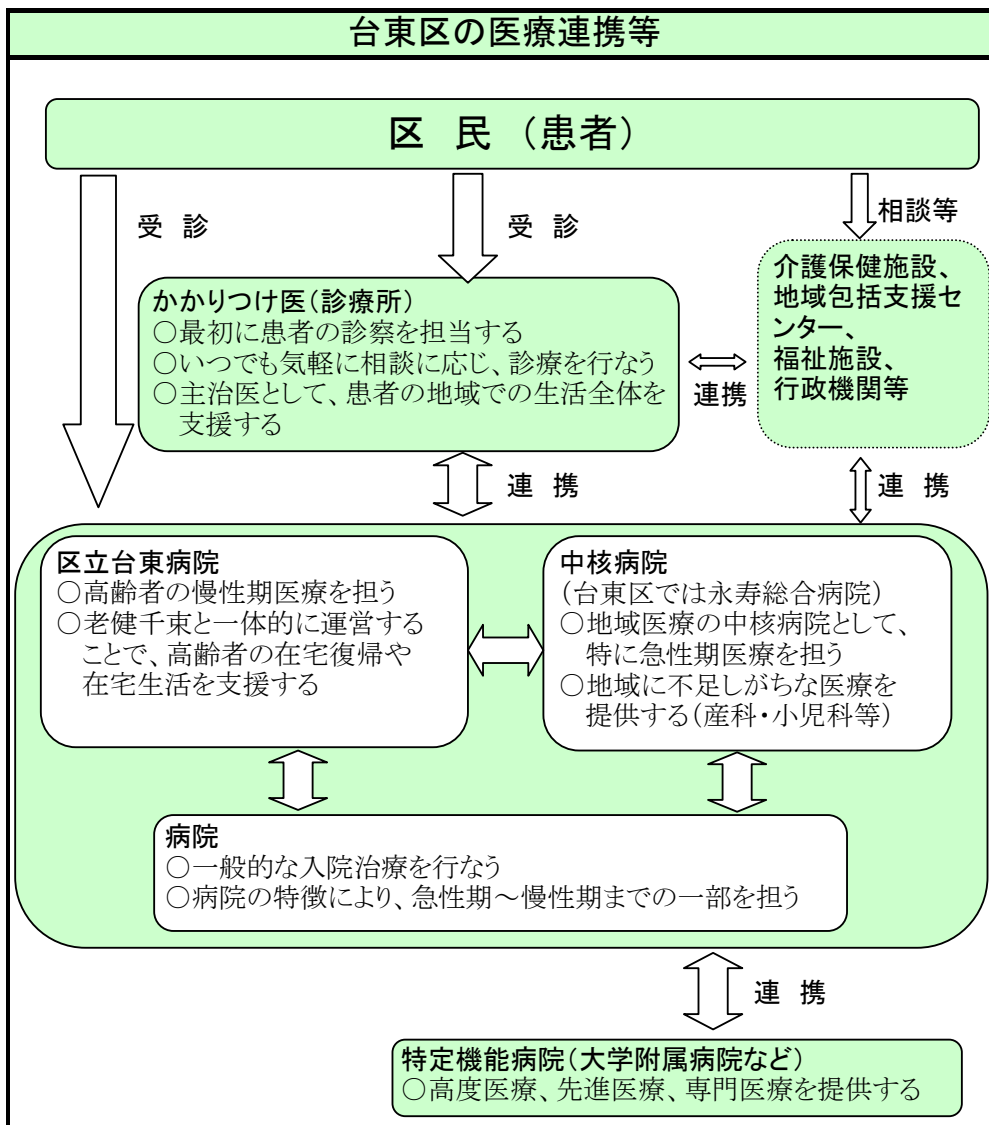


平成26年度 台東区立台東病院及び老人保健施設千束運営評価表
(平成25年度実績の評価)

施設名	台東区立台東病院・老人保健施設千束
事業開始年度	平成21年度
開設者	台東区（所管課：台東区役所健康部健康課、台東区役所福祉部高齢福祉課）
運営事業者	公益社団法人地域医療振興協会
評価の目的	サービスの提供の効果等について、記録、測定又は分析し、一定の基準に照らして客観的に評価・検証することにより、業務・運営等を継続的に改善させる。
評価内容	○新台東病院等整備基本計画に定める基本理念を的確に反映しているか。 ○基本協定書に基づき、保健・医療・福祉機能とその役割を適切に果たしているか。 ○地域に開かれた施設になっているか。
評価項目	①役割・機能、②効率性・経済性、③計画性・改善状況等

1 事業の概要

実施内容	
【台東病院】	【老人保健施設千束】
診療科目：内科、整形外科、リハビリテーション科、 眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科 病床数：120床（一般病床40床、療養病床80床（うち 回復期リハビリテーション病棟40床））	入所定員：150床（一般100床、認知症専門50床） 通所リハビリテーション：1日40人 ※平成26年2月より50人に拡大
【地域連携相談室】	
病院・老人保健施設の利用者からの相談や、医療機関・福祉サービスとの連携に加え、高齢者の日常生活の支援や介護に関する事など、さまざまな相談に応じる。高齢者が病気になっても在宅に戻るまで住み慣れた地域で安心して切れ目のないサービスを受けられるよう、総合的な連携・調整を行う。	
施設の基本理念	
○ 高齢者が住み慣れた地域で療養できるよう、高齢者の慢性疾患に対応する病院と在宅復帰に必要な入所施設を一体的に確保します。 ○ 高齢者がいつまでも自分らしく、安心した在宅生活を送ることができるよう、保健・医療・福祉サービスを提供します。 ○ 高齢者が施設や在宅で必要な保健・医療・福祉サービスを円滑に利用できるよう、サービスの担い手の連携を積極的に推進します。 ○ 安心して子育てができるよう、医療の面から支援します。 ○ 快適な療養環境や質の高いサービスを効率的に提供します。 ○ 『運営の透明性』、『区民に対する説明責任』を確保し、上記の理念が適切に果たされていることを区民の視点に立って評価・検証します。	
基本方針	
病院	○総合医を中心としたチームによる医療を提供します。 ○利用者本位で、満足度の高い医療を提供します。 ○関係機関と連携を推進し、安心して在宅生活を送れるよう、医療を提供します。 ○医療従事者の育成と資質の向上に努めます。 ○区の小児初期救急医療のしくみを補完します。 ○健全で安定的な経営基盤の確立を図ります。
老健	○良質で包括的なサービスを提供します。 ○利用者の人格及び意思を尊重し、快適で質の高い療養・介護環境を提供します。 ○地域の福祉関連機関との連携のもと、円滑な在宅復帰を目指します。 ○病院に併設されていることの利点を最大限に活かします。 ○健全で安定的な経営基盤の確立を図ります。



2 運営事業者の運営理念等

運営理念

『ずっとこのまちで暮らし続けたい』を応援します

運営基本方針

- 高齢者医療に力をいれます
- 在宅医療を支援します
- まずは受け入れるという姿勢を持ちます
- 地域と連携してサービスを提供します
- 医療に恵まれない地域の支援を行います

3 事業の現況とその推移

(1) 経営の状況

(単位：千円)

区分		23年度	24年度	25年度	前年度比	備考	
病院	総収益	医業収益	1,426,447	1,565,315	1,753,098	187,783	入院収益、外来収益 等
		医業外収益	151,963	135,414	119,440	-15,974	指定管理料、売店等事業収益 等
		計	1,578,410	1,700,729	1,872,538	171,809	
		(うち指定管理料)	104,973	64,666	43,087	-21,579	指定管理料(運営経費分)
	総費用	医業費用	1,578,059	1,673,324	1,806,478	133,154	給与費、材料費、委託費 等
		医業外費用	38,000	45,963	69,327	23,364	売店等事業費用 等
		計	1,616,059	1,719,287	1,875,805	156,518	
	損益	医業損益	-151,612	-108,009	-53,380	54,629	
		医業外損益	113,963	89,451	50,113	-39,338	
計		-37,649	-18,559	-3,267	15,292		
老健	総収益	事業収益	811,780	823,886	836,633	12,747	入所・通所リハ収益
		事業外収益	5,499	4,014	4,446	432	患者外給食収益 等
		計	817,279	827,900	841,079	13,179	
		(うち指定管理料)	0	0	0	0	
	総費用	事業費用	747,059	733,785	739,682	5,897	給与費、材料費、委託費 等
		事業外費用	3,243	2,583	17,198	14,615	患者外給食委託費 等
		計	750,302	736,368	756,880	20,512	
	損益	事業損益	64,721	90,101	96,951	6,850	
		事業外損益	2,256	1,431	-12,752	-14,183	
計		66,977	91,532	84,199	-7,333		
全体	総収益	事業収益	2,238,227	2,389,201	2,589,731	200,530	
		事業外収益	157,462	139,428	123,886	-15,542	
		計	2,395,688	2,528,629	2,713,617	184,988	
		(うち指定管理料)	104,973	64,666	43,087	-21,579	
	総費用	事業費用	2,325,118	2,407,110	2,546,160	139,050	
		事業外費用	41,243	48,546	86,525	37,979	
		計	2,366,361	2,455,655	2,632,685	177,030	
	損益	事業損益	-86,891	-17,909	43,571	61,480	
		事業外損益	116,219	90,882	37,361	-53,521	
計		29,328	72,973	80,932	7,959		

※端数処理をおこなっていないため、それぞれの合計が一致しない場合がある。

収支の概要

病院	総収益は約18億7,254万円、総費用は約18億7,581万円で、差し引き約327万円の純損失となった。なお、指定管理料(運営経費分)として、区から事業者へ約4,309万円を支払っている。
老健	総収益は約8億4,108万円、総費用は約7億5,688万円で、差し引き8,420万円の純利益となった。なお、区から指定管理料(運営経費分)は支払っていない。

(2) 運営の状況

①役割・機能
【病院】

区分		23年度	24年度	25年度	前年度比	備考		
体制	職員数	常勤医師	9人	9人	12人	3人	○平成25年度末現在 ○非常勤は常勤換算し合算	
		非常勤医師	5.1人	6.9人	7.3人	0.4人		
		総合医（再掲）	5人	9人	11人	2人		
		看護・介護職員	85人	87人	87人	0人		
		リハビリ職員	20人	19人	25人	6人		
入院	病床利用率		82.8%	83.0%	86.8%	3.8%	病床利用率＝入院延患者数÷延病床数×100	
		一般病床	79.6%	83.9%	84.8%	0.9%		
		療養病床	86.8%	81.9%	88.0%	6.1%		
		回復期リハ	81.9%	83.4%	87.5%	4.1%		
	新入院患者数		848人	956人	1,060人	104人	平成25年度に新たに入院された患者数	
		一般病床	656人	817人	877人	60人		
		療養病床	56人	48人	49人	1人		
		回復期リハ	136人	91人	134人	43人		
	平均在院日数		42.8日	38.0日	36.0日	-2.0日	平均在院日数＝延入院患者数÷（新入院患者数＋退院患者数）÷2	
		一般病床	18.7日	17.0日	16.0日	-1.0日		
		療養病床	160.9日	128.5日	132.5日	4.0日		
		回復期リハ	80.2日	85.1日	69.2日	-15.9日		
	台東区民の占める割合		86.9%	81.9%	84.6%	2.7%		
	年齢区分	59歳以下		5.4%	6.6%	10.9%	4.3%	
		60歳～69歳		10.6%	14.0%	17.2%	3.2%	
70歳～79歳		28.9%	30.7%	26.2%	-4.5%			
80歳～89歳		37.5%	31.4%	31.3%	-0.1%			
90歳以上		17.6%	17.3%	14.4%	-2.9%			
回復期リハ病棟の在宅復帰率		84.1%	86.1%	87.5%	1.4%			
外来	延患者数		52,214人	65,049人	71,514人	6,465人		
	1日平均患者数		177.0人	222.0人	244.1人	22.1人	延患者数÷外来診療日数	
	初診患者数		11,746人	12,938人	11,804人	-1,134人	初診料を算定した患者数	
	新患率		22.5%	19.9%	16.5%	-3.4%	初診患者数÷延患者数×100	
	台東区民の占める割合		87.9%	87.3%	83.1%	-4.2%		
	救急患者数		693人	936人	665人	-271人		
		救急車受入数	204人	251人	279人	28人		
	来院患者数	489人	685人	386人	-299人			

【老健】

区分		23年度	24年度	25年度	前年度比	備考		
体制	職員数	常勤医師	2人	2人	2人	0人	○平成25年度末現在 ○非常勤は常勤換算し合算	
		介護・看護職員	69人	64人	70人	6人		
		リハビリ職員	9人	6人	6人	0人		
入所	入所利用率		91.4%	92.6%	93.2%	0.6%	延入所者数÷延ベッド数×100	
	1日あたりの短期入所者数		5.9人	6.9人	6.8人	-0.1人		
	在所日数		294.1日	273.2日	364.9日	91.7日	短期入所者を除く	
	台東区民の占める割合		99.9%	99.9%	99.9%	0%		
	年齢区分	65歳～69歳		2.0%	3.0%	3.2%	0.2%	
		70歳～74歳		4.0%	3.0%	4.9%	1.9%	
		75歳～79歳		11.0%	4.0%	9.0%	5.0%	
		80歳～84歳		17.0%	21.0%	15.9%	-5.1%	
85歳～89歳		23.0%	25.0%	23.7%	-1.3%			
	90歳以上		40.0%	42.0%	43.0%	1.0%		
在宅復帰率		24.2%	25.6%	28.0%	2.4%	自宅が退所先である方の割合		
通所	1日あたりの利用者数		34.2人	34.6人	37.3人	2.7人	延利用者数÷通所営業日数	
	台東区民の占める割合		100.0%	100.0%	100.0%	0%		

【連携等】

区分		23年度	24年度	25年度	前年度比	備考
体制	地域連携相談室職員数	10.0人	10.0人	10.0人	0人	○平成25年度末現在 ○非常勤は常勤換算し合算
	ソーシャルワーカー	4.0人	4.0人	4.0人	0人	
	支援相談員	2.0人	2.0人	2.0人	0人	
	介護支援専門員	2.0人	2.0人	2.0人	0人	
	事務員	2.0人	2.0人	2.0人	0人	
紹介状持参患者数	入院患者	473人	462人	479人	17人	医師の紹介状(診療情報提供書)を持参した患者数 ※検査依頼は除く
	一般	284人	329人	313人	-16人	
	療養	55人	43人	37人	-6人	
	回復期	134人	90人	129人	39人	
	診療所から(再掲)	120人	162人	152人	-10人	
	外来患者	705人	841人	918人	77人	
	病院から	360人	422人	447人	25人	
診療所から	306人	383人	434人	51人		
施設から	39人	36人	37人	1人		
診療情報提供患者数	入院患者	347人	314人	371人	57人	診療情報提供料を算定した患者数
	一般	177人	152人	181人	29人	
	療養	48人	49人	52人	3人	
	回復期	122人	113人	138人	25人	
	診療所へ(再掲)	137人	117人	151人	34人	
	外来患者	854人	1,009人	1,112人	103人	
	病院へ	665人	739人	805人	66人	
診療所へ	119人	143人	157人	14人		
施設へ	4人	7人	7人	0人		
宛名なし等	66人	120人	143人	23人		
返送患者数	入院患者	126人	121人	138人	17人	診療情報提供書を持参した患者のうち、入院後、紹介元医療機関等に返送した患者数
	一般	78人	53人	65人	12人	
	療養	8人	11人	21人	10人	
	回復期	40人	57人	52人	-5人	
	診療所へ(再掲)	77人	78人	82人	4人	
緊急一時病床利用実数		110人	143人	154人	11人	1日あたり3床を確保
入退院・入退所経路	入院前	自宅	375人	496人	578人	82人
		診療所からの紹介	120人	162人	152人	-10人
		他病院からの紹介	261人	197人	225人	28人
		福祉施設等	46人	65人	65人	0人
		老健千束	46人	38人	38人	0人
	退院後	自宅	364人	477人	543人	66人
		診療所への逆紹介	137人	117人	151人	34人
		他病院への入院	81人	48人	68人	20人
		他病院の外来への紹介	55人	69人	53人	-16人
		福祉施設等	73人	75人	58人	-17人
		老健千束	51人	60人	46人	-14人
		死亡	90人	109人	122人	13人
	入所前	自宅	68人	67人	57人	-10人
		福祉施設等	17人	11人	7人	-4人
		台東病院	50人	62人	46人	-16人
		他の病院	32人	35人	41人	6人
	退所後	自宅	44人	39人	44人	5人
福祉施設等		62人	53人	31人	-22人	
台東病院		44人	38人	38人	0人	
他の病院		6人	18人	10人	-8人	
死亡		26人	26人	25人	-1人	
相談件数	入院相談(一般)	1,260件	1,007件	1,015件	8件	地域連携相談室で受けた相談件数 ※主たる相談内容により区分
	入院相談(療養)	220件	149件	144件	-5件	
	入院相談(回復期)	300件	228件	273件	45件	
	入所相談	296件	227件	215件	-12件	
	通所相談	78件	67件	113件	46件	
退院前カンファレンス件数		57件	124件	140件	16件	多職種による検討会の実施件数
訪問リハ延利用者数		736人	1,062人	1,598人	536人	平成23年2月より実施
在宅リハ利用者数		4人	5人	1人	-4人	平成22年10月より実施

②経営分析

区分		23年度	24年度	25年度	前年度比	備考	
病院	経常収支比率	97.7%	98.9%	99.8%	0.9%	総収益÷総費用×100	
	総費用に対する指定管理料比率	6.5%	3.8%	2.3%	-1.5%	指定管理料÷総費用×100	
	医業収益に対する職員給与費比率	79.4%	75.5%	70.3%	-5.2%	職員給与費÷医業収益×100	
	医業収益に対する委託費比率	6.8%	6.5%	6.6%	0.1%	委託費÷医業収益×100	
	医業収益に対する材料費比率	9.8%	10.3%	13.1%	2.8%	材料費÷医業収益×100	
	病床利用率	82.8%	83.0%	86.8%	3.8%	入院延患者数÷延病床数×100	
	1日外来患者数	177.0人	222.0人	244.1人	22.1人	延患者数÷外来診療日数	
	入院患者1人1日あたり診療収入	26,564円	28,138円	30,123円	1,985円	入院収益÷入院延患者数	
	外来患者1人1日あたり診療収入	6,075円	6,118円	6,341円	223円	外来収益÷外来延患者数	
	医師1人1日あたり診療収入	251,865円	231,313円	234,559円	3,246円	(入院収益+外来収益)÷年延医師数	
	看護・介護職員1人1日あたり診療収入	35,709円	40,843円	47,010円	6,167円	(看護・介護職員数)	
	CT	稼働率	54.2%	64.8%	68.1%	3.3%	稼働率=検査件数÷(1日あたり検査可能件数×外来診療日数)×100 ※1日あたり検査可能件数は、CT、MRIともに12件
		検査件数	1,748件	2,091件	2,199件	108件	
		うち検査依頼受付件数	106件	98件	103件	5件	
MRI	稼働率	32.5%	59.4%	64.0%	4.6%		
	検査件数	1,048件	1,916件	2,065件	149件		
	うち検査依頼受付件数	237件	179件	174件	-5件		
老健	事業収支比率	108.9%	112.4%	111.1%	-1.3%	総収益÷総費用×100	
	総費用に対する指定管理料比率	0%	0%	0%	0%	指定管理料÷総費用×100	
	事業収益に対する職員給与費比率	59.5%	57.0%	55.3%	-1.7%	職員給与費÷事業収益×100	
	事業収益に対する委託費比率	16.2%	17.3%	17.2%	-0.1%	委託費÷事業収益×100	
	入所利用率	91.4%	92.6%	93.2%	0.6%	入所延患者数÷延ベッド数×100	
	1日通所利用者数	34.2人	34.6人	37.3人	2.7人	延利用者数÷通所運営日数	
	入所者1人1日あたり事業収益	13,905円	13,914円	13,360円	-554円	入所収益÷入所延患者数	
	通所者1人1日あたり事業収益	10,641円	10,985円	12,717円	1,732円	通所収益÷通所延患者数	

③計画性・改善状況等

区分		23年度	24年度	25年度	前年度比	備考
健康教室開催数		12件	13件	7件	-6件	
その他区民向けイベント開催数		3件	3件	14件	11件	ミニコンサート等
意見箱投書件数		38件	55件	48件	-9件	
	苦情	8件	15件	12件	-3件	
	助言	17件	21件	24件	3件	
	謝意	13件	19件	10件	-9件	

投書箱の主な意見

- 苦情 掃除が汚い。もう少し気を使ってほしい。
→より一層丁寧に掃除するとともに、定期的に確認を行うよう改善した。
- 助言 予約票の診療日を記載する箇所について、日時のところ曜日があるほうが確認しやすい。
→システムを修正し、曜日の欄を追加した。
- 謝意 入所して2か月が経過し、信じられないほど元気になり安心している。本当にありがとうございます。

④その他

居宅介護支援事業所千束（自主事業）

関係機関と連携しながら、『治療から介護へ』、『施設ケアから在宅ケアへ』とサービスを提供する上で、より迅速に質の高いサービスを提供するため、居宅支援事業の運営を平成23年12月より開始した。ケアマネジャー(介護支援専門員)1名を常勤配置しており、平成26年3月末現在の登録者は27名である。

4 評価

評価の段階

A	目的・要求等を十分に満たしている状態
B	目的・要求等を概ね満たしている状態
C	目的・要求等に対し補う必要がある状態

(1) 役割・機能の評価

①台東病院が慢性期医療を担う拠点病院として機能しているか（※医療連携については別途評価）

【参考指標】患者数、平均在院日数、年齢区分等（P 4）

事業者 評価 A	根拠	全入院患者に占める返送患者数は、約6割が診療所からの患者であるなど、診療所等からの紹介患者を中心に、医師、看護師、リハビリスタッフ等が連携しながら対応しており、患者の在宅復帰に向けて取り組んでいる。特に認知症、緩和ケア、リハビリといった点を強化するため、各分野のチームを作り、対応を始めている。
	協議会 評価 A	病床利用率や外来患者数は着実に増加しており、回復期リハビリテーション病棟の在宅復帰率においても、約88%と高い水準で推移している。地域の診療所等からの紹介患者の返送も年々増加しており、在宅復帰への取り組みが認められる。また、昨年に引き続き、高齢者を中心に認知症や複合疾患を持つ患者など、対応困難な方を柔軟に受け入れるために、医師のチーム作りを始めるなど、慢性期医療の中心的な役割を担う病院として、機能していると評価できる。

②老人保健施設千束が在宅復帰に向けた入所施設として機能しているか（※地域との連携については別途評価）

【参考指標】利用者数、在所日数、在宅復帰率等（P 4）

事業者 評価 A	根拠	入所、通所ともに利用者数が増加し（入所：利用率93.2%、前年度比+0.6% 通所：1日あたり37.3人、前年度比+2.7人）、多くの方に利用いただいている。退所前には地域連携相談室が中心となり、退所前カンファレンスを開催し、家族や関係機関の方々と連携をとりながら退所支援等を行っている。在宅復帰率も上昇し（28.0%、前年度比+2.4%）、在宅復帰に向けた取り組みが機能している。また、患者さん及び家族のご意向に沿った形でお看取りについての対応も行っている。
	協議会 評価 A	入所利用率や通所の1日あたりの利用者数は着実に増加しており、退所時の支援においても、利用者や家族の在宅後の生活を第一に考えた対応に努めている。さらに、在宅復帰率も年々上昇しており、円滑な在宅復帰に向けた施設として機能している。

③医療機関等との連携は適切に行われているか

【参考指標】医療連携等（P 5）

事業者 評価 A	根拠	退院前カンファレンスを年間140件実施するなど、病診・病病連携の強化に取り組み、病院やかかりつけ医等との紹介・逆紹介患者数が増加している。在宅療養支援病院として、診療所とも情報交換を行うとともに、厚労省が推奨している地域包括ケアや在宅療養の考え方についても、区が設置した『在宅療養連携推進協議会』に参加するなど、慢性期医療の拠点病院としての機能強化に向けて取り組んでいる。
	協議会 評価 A	前年度の運営協議会評価において、『台東病院から離れている診療所とは十分でない』ことや、『かかりつけ医や関係機関と顔の見える連携の構築』が課題であるとの指摘があったが、退院前カンファレンスを中心とした病診連携や病病連携の強化、在宅療養支援病院としての取り組み、区の『在宅療養連携推進協議会』への参加など、積極的に医療機関等との連携を行っていることが認められる。

④台東病院と老人保健施設千束が連携しながら、互いの機能を効果的に発揮しているか

【参考指標】 入退所経路（P 5）

<p>事業者 評価</p> <p>A</p>	<p>根拠</p>	<p>病院・老健利用者の施設間移動は、病院→老健が54人、老健→病院が38人であり、病院と老健がお互いの機能を補完しながら、入院患者及び入所者に対し、複合施設の利点を活かした安心感のあるサービスを提供することができている。</p>
<p>協議会 評価</p> <p>A</p>	<p>根拠</p>	<p>老健入所者の約30%は台東病院より入所しており、老健退所先の約26%が台東病院であることから、病院と老健が併設しているという、施設のメリットを活かした運営が行われている。また、老健の認知症専門50床については対応困難なケースが想定されるが、病院の当直医等との連携により適切に対応していることが伺え、お互いの機能を効果的に発揮していると認められる。</p>

⑤退院・退所後も、家族等の支援や在宅でのリハビリテーションの支援等により、在宅生活を支援しているか

【参考指標】 退院時院外カンファレンス件数、訪問リハ延利用者数（P 5）

<p>事業者 評価</p> <p>A</p>	<p>根拠</p>	<p>訪問リハビリ事業の実績が増加した（延利用者数1,598人、前年度比+536人）。退院退所後の生活をより理解するため、状況に応じ、職員が住居に訪問し、調査、アドバイス等も行い、在宅復帰につなげている。また、在宅で介護をしている方に対して、『街角けんこう教室』、『在宅ケア教室』を定期的に開催して、在宅での介護の相談にも対応している。</p>
<p>協議会 評価</p> <p>A</p>	<p>根拠</p>	<p>訪問リハビリテーションについては、スタッフの確保や教育といった体制を強化してきた成果が表れ、前年度比+536人という望ましい実績となった。また、退院・退所前カンファレンスの実施から一歩進めた、退院・退所後の在宅訪問といったサービスを実施するなど、より在宅生活を支援していることが認められる。今後とも、台東区のリハビリテーションの中核的な役割を果たされたい。</p>

【その他】適切な機能水準が満たされているか

平成26年2月に日本医療機能評価機構の病院機能評価（一般病院1）を受審し、平成26年5月2日に認定を取得。

(2) 効率性・経済性の評価

①台東病院の施設・機器等を効率的に活用しているか

【参考指標】経営分析等（P 6）

<p>事業者 評価 B</p>	<p>根拠 病床利用率や1日あたり外来患者数は年々伸びており、病院施設を効率的に活用出来ている。高額医療検査機器（CT・MRI等）の共同利用については、昨年度と比べて横這いであり、十分な実績は出ていないので、利用率向上に向け、区内の診療所等の医療機関を訪問している。</p>
<p>協議会 評価 B</p>	<p>根拠 施設の活用においては、病床利用率や外来患者数が順調に推移していることから、効率的に運用していると認められる。高額医療機器の活用においては、全体の撮影件数はCT・MRIともに年々増加しており、効率的に運用していると認められるが、地域の診療所等からの検査依頼件数は昨年度と比較して変わっていない状況である。引き続き、地域の診療所等に対して広報することにより、共同利用件数が増加するよう、努められたい。</p>

②老人保健施設千束の施設等を効率的に活用しているか

【参考指標】利用者数、経営分析等（P 4、6）

<p>事業者 評価 A</p>	<p>根拠 入所利用率や1日あたり通所利用者数は年々伸びており、老人保健施設を効率的に活用出来ている。屋上リハビリ庭園での作物の栽培、入口エントランスでのコンサート、各階食堂でのイベント食等、施設を有効に利用しながら、サービス提供ができ、利用者に好評を得ている。</p>
<p>協議会 評価 A</p>	<p>根拠 施設の活用においては、入所利用率や1日あたり通所利用者数が順調に推移していることや、様々なメニューを用いることによって、利用者が楽しみながらリハビリテーションを行っていることが伺える。また、利用者にも好評であることから、施設を効率的に利用していると認められる。</p>

③台東病院の事業運営の効率性は発揮されているか

【参考指標】経営の状況、経営分析等（P 3、6）

<p>事業者 評価 B</p>	<p>根拠 患者数及び病床利用率が上昇したことなどにより（入院：利用率86.8%、前年度比+3.8% 外来：1日あたり244.1人、前年度比+22.1人）、昨年度に比べ経営状況が改善され、病院のみの収支はほぼ均衡する形となった。ただ、費用も増加していることから、今後も人件費、委託費等の調整を図りながらより適正な事業運営に取り組んでいきたい。</p>
<p>協議会 評価 B</p>	<p>根拠 病床利用率や外来患者数、及び入院患者や外来患者の診療単価の増加等によって、事業収支は改善している。また、人件費率は徐々に下がっており、望ましい状況に近付きつつあるが、引き続き施設を有効活用しながら、収益を増やし、人件費率の低下に努められたい。</p>

④老人保健施設千束の事業運営の効率性は発揮されているか

【参考指標】経営の状況、経営分析等（P 3、6）

<p>事業者 評価 A</p>	<p>根拠 入所利用率93.2%（前年度比+0.6%）、通所1日あたり利用者37.3人（前年度比+2.7人）に達し、収益が増加した。平成26年2月からは、通所リハビリテーションの定員を40人から50人に増やし、さらに運営の効率を上げるべく取り組みを行っている。</p>
<p>協議会 評価 A</p>	<p>根拠 入所利用率や通所利用者数が順調に推移したことなどによって、事業収支は改善している。また、ニーズの多かった通所リハビリテーションの定員を増加するなど、効率的な運営が行われていると評価できる。</p>

(3) 計画性・改善状況等の評価

①前年度の運営協議会の意見を台東病院・老人保健施設千束の運営に活かしているか

【参考指標】平成24年度評価表等

事業者 評価 A	根拠 前年度の協議会で指摘があった病床利用率の向上、人件費率の改善、高額医療機器の共同利用、訪問リハビリの拡充などについては、院内でも周知し、検討改善してきた。外部への周知が足りない部分については、施設利用案内を作成し、区内の診療所等医療施設を訪問し、広報を行っている。
協議会 評価 A	根拠 前年度の運営協議会の評価では、事業者評価のとおり『高額医療機器の共同利用の促進』、『病床利用率の向上』、『人件費率の改善』、『訪問リハビリテーションの充実』が、主な課題として挙がっていた。それぞれの課題に対し、利用促進や充実に向けて院内で取り組んできた結果、改善が認められる。今後も、運営協議会からの意見等については、真摯に受け止め、運営に活かされたい。

②利用者や区民の意見を取り入れ、台東病院・老人保健施設千束の運営に活かしているか

【参考指標】意見箱投書件数等（P6）

事業者 評価 A	根拠 地域連携相談室や各病棟で患者、利用者さんの相談に応じるほか、『患者相談窓口』も設置し、周知している。平成25年度より、患者や利用者の声を直接取り上げ、運営に活かすために、『患者さんの声委員会』を設置した。利用者からの要望に基づき、健診メニューに脳のCT・MRI検査を加えるなど、運営改善に取り組んでいる。
協議会 評価 A	根拠 『患者相談窓口』や『患者さんの声委員会』を設置するなど、これまで以上に利用者の意見を取り入れる体制を整備しており、運営改善を図っていると認められる。今後とも、利用者の視点に立ったきめ細かな対応を実施し、運営に活かされたい。

③区立の病院・老人保健施設だからこそできる役割を果たしているか

事業者 評価 A	根拠 台東病院においては、『街角けんこう教室』、区民への健診サービス、保健所が行っている健診キャンペーンへの看護師派遣、区立中学校研修会のボランティア受け入れなどの事業を実施している。老人保健施設千束においても、地域のこども会との交流や展示を実施するなど、区立施設だからこそ可能な区民の方々との事業を行っている。
協議会 評価 A	根拠 区立病院であることを活かし、区民の健康増進のための健診や健康教室等のイベント実施、区が行っている事業への協力等、年々内容も広がっていることが伺える。また、老人保健施設においても、積極的に地域と関わっており、世代を超えた貴重な交流の一助となっている。今後とも、健康づくり・医療・介護にかかる事業・取り組み等を充実し、区立の病院・老人保健施設だからこそできる役割を果たされたい。

④計画性を持って、台東病院・老人保健施設千束を運営しているか

事業者 評価 A	根拠 毎月、運営に関する会議を開き、各部門毎に役割、機能、今までの実績等について、職員一丸となって再確認し、不足している部分を目標として設定し、その改善を行うことに取り組んで来た。結果については発表会を開き、施設職員全体で共有した。また、平成26年2月に受審した病院機能評価においても、このことが評価され、5月2日に認定された。
協議会 評価 A	根拠 年度当初に目標を設定し、その進捗管理や達成度について、各職種の代表者による運営会議等により、部門毎の業務等に関する情報共有を行っていることは計画性を持って運営していると認められる。また、病院機能評価の認定についても、客観的な高評価に値する。今後とも、計画的な施設運営を図られたい。

5 総合評価等

【総合評価】

台東病院については、昨年度に比べ、病床利用率や外来患者数は増加し、回復期リハビリテーション病棟の在宅復帰率は順調に推移しており、地域の診療所への返送数も年々増加している。また、退院前カンファレンスの実施強化や在宅療養支援病院としての取り組み、区の『在宅療養連携推進協議会』への参加など、積極的に地域の医療機関等との連携を行っており、慢性期医療を担う拠点病院として機能していると評価できる。

事業収支は、患者数の増加や運営改善等によって改善しているが、CT・MRIについて、歯科医療機関とも連携しながら共同利用を促進し、より一層稼働率の向上を図るなど、引き続き収益の増加に努められたい。

老人保健施設千束については、前年度に比べ、入所利用率や1日あたりの利用者数は増加し、在宅復帰率も向上しており、円滑な在宅復帰に向けた施設として機能していると評価できる。ただし、在所日数については重症者など困難な事例に対応していることから、前年度に比べ延びている状況にある。退所困難者への対応も重要であるが、入所待機者への配慮も必要であることから、より多くの区民が利用できるよう、バランスのとれた運営を図られたい。

事業収支は、入所利用率の向上等により堅調に推移しており、今後とも、介護士等の人材の確保を図りながら、収支の安定に努められたい。

その他については、台東病院と老人保健施設千束の間で利用者がスムーズに移動しており、切れ目のないサービスの提供に努めている。また、病院機能評価の認定を取得するとともに、訪問リハビリテーションの体制強化、診療所等への訪問・周知、『患者さんの声委員会』の設置等を行い、職員一丸となって運営改善に取り組んでいると認められる。

今後とも、利用者や本運営協議会からの意見を運営に活かし、地域の医療・介護関係機関等と連携しながら、健康づくり、医療・介護サービスに取り組み、計画的な施設運営を図られたい。

【その他の意見等】

- 地域リハビリテーションの考え方の中に、在宅の方を短期間施設に受け入れ、リハビリ後、在宅に戻すという仕組みがあり、今後、訪問リハビリテーションにその視点を取り入れてほしい。
- 小児科や外科、人工透析の設備など地域からの要望は様々であり、これらを満たすのは困難であると思うが、こういった意見があることを踏まえ、今後の病院運営に活かされたい。